

# 箱

【3】年

はこ

15画  
竹 箱 箱 箱 箱

なりたち

倉庫の倉の意味を  
仮借(か)した相と、竹との形  
声字。車内の物を容(じ)れ置く  
所を表した字。竹を編んで作  
った籠(かご)のような「はこ」。転  
じて、木や紙で作った「はこ」  
も箱と書く。



【いみじゆく】

▼箱。物を入れておく容器。  
木箱：木で作った箱。最初は  
箱は竹で編んで作った。  
紙箱：紙で作った箱。  
本箱：本をしまふための箱。  
本棚をも指す。

宝石箱：宝石をしまつておく  
箱。  
重箱：料理を入れ、何重にも  
重ねて保存・携帯できるよ  
うにした箱。【例】重箱の隅  
をほじくる。(ささいな事ま  
で取り上げて問題にする。)

箱入り：①箱に入っているこ  
と。②「箱入り娘」の略。(大  
事にしてめつたに外出もさ  
せないほど大切に育てた娘。)

箱書き：書画や工芸品などを  
入れた箱に、それが本物で  
あることを保証して署名・  
捺印(なつ)したもの。  
よみかた 箱庭・小箱・巢箱

# 箱 範

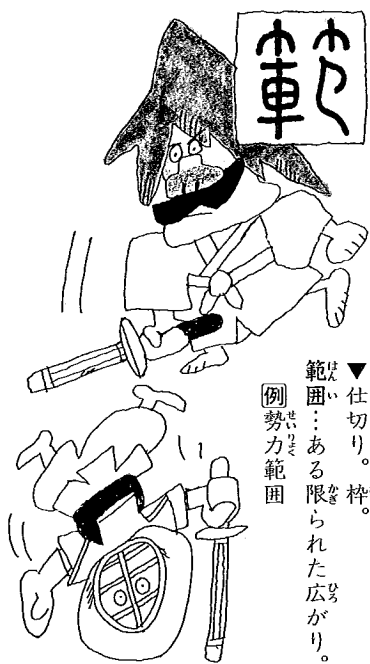
# 範

ハン

15画  
竹 範 範 範 範

なりたち

竹製の型(型は土  
製。木製は模)の意味の「範  
(はん)」と、車との会意形声字。  
「車を作るための模型」を表し  
た字である。これを手本にし  
て作るので「手本」の意味。「よ  
り所」規則。法典。



【いみじゆく】

▼手本。より所。きまり。  
模範：見習うべき手本。【例】模  
範的

規範：手本。より所となる規  
則や規準。「軌範」とも書く。  
師範：①学識・人格に優れ、  
人の模範となる人。②学芸  
を教える人。【例】道師範

③「師範学校」の略。旧制度  
で教員を養成した学校。  
垂範：範を垂れること。手本  
を示すこと。【例】率先垂範(先  
に立つて手本を示すこと。)

仕切り。枠。  
範圍：ある限られた広がり。  
【例】勢力範囲

# 笛

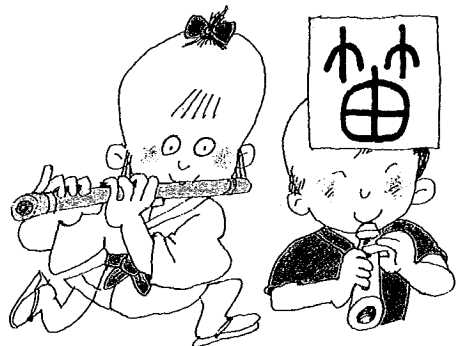
【3】年

ふえ テキ

11画  
竹 笛 笛 笛 笛

なりたち

由(よ)る意味の由  
と、竹との会意形声字。竹に  
由つて作られる「ふえ」を表し  
た字。竹の管に穴をあけて吹  
き鳴らす楽器。「管楽器」。



【いみじゆく】

▼笛。吹いて鳴らすもの。  
横笛：横に持つて吹く笛。  
縦笛：縦にして吹く笛。  
口笛：唇を丸くすぼめたり、  
指を口に入れたりして、強  
く息を出して音を出すこと。

また、その音。  
草笛：草の葉を丸めて唇に当  
て、吹いて音を出すもの。  
麦笛：麦の茎を唇に当てて笛  
のように音を出すもの。  
角笛：動物の角で作った笛。  
獵師や牧童などが使う。  
汽笛：汽車や蒸気船などで、  
蒸気を吹き出して音を出す  
笛。

霧笛：霧が深い時、航海の安  
全のために船や灯台が鳴ら  
す汽笛。  
鼓笛：太鼓と笛。【例】鼓笛隊(太  
鼓でリズムを取り、行進曲  
を演奏する楽隊。)

# 箇

おん カ

14画  
竹 箇 箇 箇 箇

なりたち

固まりの意味の固  
と竹との会意形声字。竹で作  
られた箱などの一つ一つを表  
した字。「箇箇(ここ)」。古  
くは「個」は人について言い、  
「箇」は物について言ったが今  
は人や物に関係なく使う。



【いみじゆく】

▼物を数える時の言葉。  
▼物事を一つ一つ指し示す言  
葉。

箇所：問題などになっている  
その場所。【例】間違つた箇  
所を訂正する。  
箇条：分けて書き並べた事柄  
の一つ一つ。【例】箇条書き

# 笛 箇

一、時間を守る。  
二、静かにすること。  
三、廊下を走らない。